

特別企画

女性が活躍するクラブ・連絡協議会



伊勢原・ふれすぽ 〈神奈川県伊勢原市〉



総合型クラブの活動基盤・活動環境をより充実させるためには、地域住民から必要不可欠な存在であると認識されることが重要であり、そのためには、地域づくりまでも視野に入れ、スポーツの「楽しさや喜び」を拡充し普及させる「公益的な活動」を行うことが求められます。

したがって、クラブ運営を担う人材は、クラブマネジメントに関する一定の知識・技能に加え、幅広い視野と見識を培い、地域住民と共に地域課題の解決ができる資質・能力を重視する必要があります。

そこで、今回は女性の視点をクラブ運営に取り入れ、女性が多く活躍する仕組みをつくる連絡協議会やクラブの取り組みを紹介します。

今回の特別企画では、神奈川県の伊勢原・ふれすぽにお話を伺いました。

1 クラブ概要

平成27年3月に設立された伊勢原・ふれすぽは、伊勢原市成瀬地区を活動拠点に地域にコミュニティの場を提供し、地域住民参加型の事業を行うことを目的とする総合型地域スポーツクラブを目指している。育児世代からシルバー世代の方々まで、日頃の運動不足解消やリフレッシュにつなげ、子育ての悩み等も共有できる地域の仲間づくりを図っている。

会員数は100名を超え、育児世代の女性を中心にシニアも参加できる教室を実施。事務局スタッフは女性4名、インストラクターは6名(女性5名、男性1名)、監事1名(男性)と、女性中心の運営で成り立っている。クラブが標榜しているのは、「①子どもから高齢者まで(多世代)②様々なスポーツを愛好する人々が(多種目)③初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)」総合型地域スポーツクラブだ。

2

女性による運営で各種定期教室開催、子育てママさん多数参加

スペース狭く少数定員制を採用 幅広い年齢層のママさんが会員

平日の午前中に「ノルディックウォーキング」「ヨーガ」「エクササイズ」「バランスボール」「ピラティス」「骨盤調整」「ダイヤビック」の各種定期教室が実施され、若いママさん世代からシニア世代まで幅広い層の会員が、伊勢原市体育館、石田スポーツプラザ、マンションの集会所などを活用して汗を流す。各教室とも会場スペースの関係から10人～15人の少数定員制を採用しているが、ママさんたちの「体を動かしたい」という熱気であふれている。筆者が訪れた石田スポーツプラザでのバランスボールのBBM(バランスボールメイク)教室では、女性インストラクターの声が響きわたり、会員がそれぞれの運動能力に合わせバランスボールと奮闘していた。一見簡単そうだが、実際は身体への負荷がじわじわと高まっているはず。教室終了後、参加者は心地よい汗をタオルで拭い、笑顔でプラザを後にする姿が印象的だった。

参加しやすい時間設定と都度参加費500円を採用

教室の午前実施はママさん世代への配慮だ。朝食、洗濯などの家事を終え、学校が終わる前の屋こりに帰宅できる時間帯が最も参加しやすい。開催日も、エリア内の学校行事を事前確認し、行事と重ならないよう気配りされている。年会費は負担感を少しでも軽減したいとの事務局側の判断で3,000円(60歳以上は2,500円)に設定され、気軽に出席しやすいよう参加費は都度払いで1回500円となっている。教室の雰囲気や気軽に参加できるシステムが気に入って、1年経過後には別の教室で体を動かす会員も多い。

3

会員からも信頼される女性インストラクター

運動能力に合わせ無理なく指導

クラブ訪問時にBBM教室を指導していたのはインストラクターの成澤絵梨香さん。教室に参加していた会員さんは、年齢層に幅があり、それぞれの運動能力にも個人差がある。成澤さんは自ら体を動かしながら「この動きがきつい方は、このへんまで動かせばいいですよ」と優しくアドバイスを与え、参加者は自分の能力に合わせ無理なく体を動かしている。

他クラブにはないフレンドリーな雰囲気

他のクラブでも指導する成澤さんは、「ときには育児相談もしながら楽しくやっています。このクラブはフレンドリーでいい雰囲気ですね。会員さんとは遠からず近からず、いい関係が生まれています。これって他のクラブにはないですね」と、自信を持って伊勢原・ふれすぽの良さをアピールする。会員へのアンケートも実施されているが、クレームは一度もなく、成澤さんは「会員の『きつい』『疲れた』は、いい意見と捉えている」そうだ。

インストラクターの発案が運営委員会に反映→教室の種類が増加

月に1回、木曜日の午後に運営委員会が設定されている。事務局スタッフ、インストラクターらで構成される同委員会では、単刀直入な意見や提言が交わされている。委員会は月1回の開催のため、普段の教室の場でも事務局スタッフとインストラクターが積極的に意見を交わし、会議の場になっても意見が言いやすい雰囲気を作っているという。設立当初は若いママさんをターゲットにしていたため、エクササイズ中心の教室展開だったが、シニアを含めた幅広い年齢層が参加しやすい教室を徐々に増やしてきた。「自分がやる気を見せれば運営委員会が動いてくれる」と成澤さんが強調するように、インストラクターたちの発案で新たな教室が開設され、クラブの広がりにつながっている点も見逃せない。

4 「育児世代の女性にも運動の場を」 —女性の代表・副代表が奮闘

元スイミングインストラクターの小倉さんと中村さんが一念発起

クラブ発展のキーとなったのは二人の女性だった。クラブ代表の小倉留美江さんと同副代表の中村裕子さん。平成23年4月ころ。伊勢原市では30代～40代の市民が最も運動する機会が少ないというデータを目にした。「子どもを産んで、子育てに追われるママさんたちが運動するには何がいいのか」。そう思案していた小倉さんと中村さんに、市のスポーツ課から「総合型クラブをつくりませんか」という提案があった。

二人ともスポーツクラブでインストラクターとしてレッスンをしていた経験もあり、新たな試みに挑戦しようとして一念発起、平成27年3月にママさんを対象とした総合型地域スポーツクラブを設立した。当初は元県庁職員、講師の男性2人、元スイミングインストラクターの女性2人の協力を得て6人でスタート。最初は会員よりもスタッフの方が多い時期もあったが、「子育てでモヤモヤしてそうなママさんに声をかけた」結果、会員数が徐々に増えるようになった。

運営面で協力し合う「女性ならではの名コンビ」

クラブが軌道に乗った大きな要因は、小倉さんと中村さんとの「女性ならではの名コンビぶり」に他ならない。小倉代表が「副代表と二人で協力し合っている。一人で動くのではなく、必要なところは二人で考え行動している」と言えば、中村副代表は「情報共有を一番大切にしている。お互い信頼し合って役割を分担している」。こう話す二人の表情は実に生き生きとしている。神奈川県体育協会の内田佳彦クラブアドバイザーも「それぞれが責任感とプロ意識を持ってクラブを運営している。それに、副代表は代表をうまく立てている」と、二人の名コンビぶりに目を細める。とはいえ家族の理解と協力は不可欠だろう。「土日にクラブに出ても家族は気持ちよく送り出してくれている」(小倉代表)ところも、クラブ運営成功の要因の一つだろう。

クラブ成功の秘訣は「無理をしない」

そして中村副代表が付け加えた。「他のスタッフにも、土日出るときは家族の了解をもらうよう指示している。家庭を最優先とし、無理をしないで出来ることをやってもらう。それはスタッフも会員さんも同じ。『無理をしない』、これが午前中のみ開催という教室スケジュールにも反映されています」。

伊勢原・ふれすぽが軌道に乗っている一番の秘訣は、この「無理をしない」という基本方針に違いない。

5 広い教室スペースどう確保 自然体で継続し自立の道を

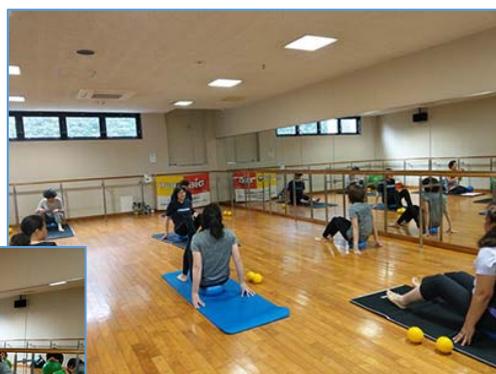
直面しているクラブの悩みは教室会場のスペース。今年4月の会員数は122名だが、今年中に160名に増やすことを目標にしている。そのためにも現状よりも広い教室スペースを、どう確保するか。いずれ訪れる、補助金がなくなる時に備え、今から自立の道を切り開く必要もある。

だが、代表と副代表に焦りはない。「同じスタッフで何か新しいことをやりたいが、まずは地道に長く継続していきたい」(小倉代表)と、あくまで自然体を崩さない。中村副代表は「クラブを運営していることで社会に携わっている感覚が自分にある。そして責任感も芽生えている」と、実感をこめる。二人がこの気持ちを保ち続けていけば、伊勢原・ふれすぽが更に発展し、会員数も増加していくと筆者は確信した。

時事通信社 編集局編集委員 滝川 哲也



左:小倉代表、右:中村副代表



クラブプロフィール

設立年月日 平成27年3月27日

所在地 神奈川県伊勢原市成瀬地区

運営 会員数 122名(平成30年4月現在)

予算規模 500万円

有給職員 2名

特徴 育児世代を中心にシニアも参加できる教室を実施しています。女性参加が多いクラブなので、開催日・時間帯・参加費等、地域の行事等を把握して計画を立てています。教室内容も毎年アンケートで参加者に聞くことはもちろん、講師の方とも話し合い、その時に合ったものを継続的に行えるよう運営委員会等の場で話し合っています。市のスポーツ課とも連携し、イベント等を共同で開催したり、情報共有を行いクラブ運営に役立っています。スタッフも参加者同様、子どもがいるスタッフがたくさんいます。だからこそ出来ることを見つけ、日々のクラブ運営をより良いものにするために頑張っています。

連絡先 TEL 070-6555-6936

E-Mail i.fulesupo@gmail.com

URL <http://i-fulesupo.jimdo.com/>